

PFAS 対策技術コンソーシアム国際講演会

「PFAS 対策技術の将来」12 月 12, 13 日

ほぼ確定プログラム (MS Teams タウンホールによる日本語字幕提供予定です)。

昨年 10 月の国際講演会と同様に、国内学会や勉強会レベルでは不可能な、世界中の著名 PFAS 専門家の最新研究成果の講義であり、本来は会員限定講演会を予定していましたが、コンソーシアムコアメンバーのご厚意により、一般公開することになりました。一般の参加者には接続できない場合や Q&A 等のサポートはありませんが、下記より参加可能です。

PFAS 対策技術コンソーシアム国際講演会

12 月 12 日 9:30 より開始

https://teams.microsoft.com/l/meetup-join/19%3ameeting_ZjMxY2IxNjQtM2NhYy00NWViLTg3ODEtZTdmOWNjN2MxNjE2%40thread.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%2218a7fec8-652f-409b-8369-272d9ce80620%22%2c%22Oid%22%3a%2273929af4-fcef-42e1-afcb-5548950b18ce%22%7d

12 月 13 日 9 時より開始

午後は SEMICON Japan での登壇 (コンソーシアムメンバーのみ オンライン参加可能)

https://teams.microsoft.com/l/meetup-join/19%3ameeting_MDk4YWVRkYzUtYjEyZi00OTFILWFjZDEtNjJiNWM4NTU1ZTAw%40thread.v2/0?context=%7b%22Tid%22%3a%2218a7fec8-652f-409b-8369-272d9ce80620%22%2c%22Oid%22%3a%220eea6cb4-6426-42ce-a7c1-273e1e91569a%22%7d

本講演会では、10 分程度の話題提供ではなく、PFAS 研究の第一線で活躍する専門家に十分な時間を割いてご講演いただきます。そのため一つ一つの講演密度が高いため、視聴者側もコンソーシアムデータベースで基礎的な勉強をしてからの参加が推奨されます。

12月12日(木) コアメンバーを除き、基本的にオンライン講演(参加無料)

9:30-10:00 「PFAS 対策技術コンソーシアムの三年半の成果と今後の計画 – 内部型 TLO から広域 TLO へ」

PFAS 対策技術コンソーシアム 会長 山下信義

10:00-10:45 キーノート講演①「PFAS-AI: 機械学習と人工知能を用いた 3000 種類の PFAS 迅速分析技術と地球規模汚染の解明 – PFAS global から PFAS galaxy へ」

南京大学 Si Wei 教授

10:45-11:30 「中国における最先端 PFAS 研究の現状」

香港城市大学 Ruan Yuefei 教授

休憩

13:05-13:45 キーノート講演②「低分子 PFAS ; 地球規模の有機フッ素化合物汚染の原因物質」 Ultrashort chain perfluoroalkyl acids: Overlooked global organofluorine contaminants
エーレブルー大学 Leo Yeung 教授

13:45-14:10 「電子機器工業における PFAS 代替物質の安全性評価」 Using Alternatives Assessment to Support Informed Substitution of PFAS in the Electronics Industry
マサチューセッツ大学

14:10-14:35 「ストックホルム条約 BAT/BEP ガイダンスにおける PFAS 対策」 Guidance on BAT/BEP for the use of PFOS, PFOA and related compounds listed under the Stockholm Convention

UNEP : BAT/BEP ガイダンス作成グループ

14:35-15:00 「半導体産業における PFAS 代替技術の可能性と限界 – 欧州表面処理 BAT 評価技術書について」 Potential and limits of substituting PFAS in the semiconductor industry - Update of the EU Surface Treatment BAT Reference Document
欧州半導体工業協会 (ESIA)

15:00-15:30 「鉄鋼業及び樹脂製品表面処理の PFAS 代替技術の BAT」 BAT for the substitution of PFAS in surface treatment of metals and plastics
UNEP : BAT/BEP ガイダンス作成グループ

15:30-16:15 キーノート講演③「PFAS 及び PFAS 含有廃棄物の分解技術への挑戦」

Destruction of PFAS and PFAS Containing Waste and Related Challenges

Roland Weber 氏

16:15-16:40 「粘土鉱物吸着剤による PFAS 環境修復技術 – PFAS とコンクリートの相互作用」 Application of clay-based sorbents for PFAS remediation and new insight into PFAS-concrete interactions

香港理工大学 Liu Jinxiang 教授

16:40-17:05 「XANES(X 線吸収端構造)解析による PFAS 分解技術の開発 – メカノケミカル分解からキルン式高温燃焼まで」 PFAS analysis by fluorine K-edge XANES spectroscopy and thermal and mechanochemical treatment

BAM Christian Vogel 博士

17:05-17:30 「熱分解による PFAS の完全分解処理」 Thermal treatment of PFAS: Pathways for complete remediation

ザ・オープン大学 Takek Rashwan 博士

17:30-17:50 「PFAS とはなにか、分析化学の基礎から考える」 Why are we so scared by perfluoro... what?

NILU Vladimir Nikiforov 博士

12 月 13 日 (金) コアメンバーを除き、基本的にオンライン講演(参加無料)、午後のセッションは SEMICON JAPAN への事前登録必須

9:00-9:30 「PFAS 対策技術の地政学 - 欧州 PFAS 対策技術現地見学会報告」 山下信義

9:30-10:00 「PFAS の最新測定技術開発と国際標準化動向」 谷保佐知

10:00-10:30 「‘生きている’産業用 PFAS 類の分解・無機化反応の開発」 堀久男

10:30-11:00 「タイにおける PFAS 対策の推進について」 国際連合工業開発機関 (UNIDE/MTEC Thailand)

12:30-14:10

・ SEMICON JAPAN サステナビリティ・サミット (東京ビッグサイト)

下記参照

(<https://semi.eventos.tokyo/web/portal/609/event/11724/module/booth/293998/253347>)

概要

2023 年 10 月に SONY CITY 品川で開催した PFAS 対策技術コンソーシアム国際講演会「国内 PFAS 研究の失われた 15 年を取り戻し日本発新技術を国際普及することは可能か?」は、それまでリスク以外の議論が不在であった国内 PFAS 問題を大きく変える契機となり、これ以降、国外で実用化されている PFAS の環境修復・分解技術の国内普及に PFAS 対策の焦点が移ることになりました。

また、2024 年 9 月に東京ビッグサイトで開催した「地盤技術フォーラム」では、驚くべきことに、展示内容の三分の一以上が PFAS 対策新技術の紹介でした。

三年前にはリスク一辺倒の議論しか無かった国内 PFAS 問題の認識が、PFAS 対策技術コンソーシアムの三年間の活動により、PFAS 環境修復技術の国内普及へと大きくかじ取りに成功したことが明確になり、環境省も含め関係各所より高く評価していただきました。

「地盤技術フォーラム」に続き、来年 1 月開催の「InterAqua2025」では展示会事務局の希望で PFAS 対策技術コンソーシアムパビリオンを展示予定です。さらにハワイで開催される「Pacifichem2025」への出展も予定しています。

一部の地方自治体では PFAS 環境修復事業者とのマッチングにも成功、12 月には「PFAS 対策技術事業者総覧」の公開を予定しています。なお「地盤技術フォーラム」で 9 月 18 日に開催した専門家セミナー「国内外の PFAS 対策最新技術について」の講演内容の一部は会員限定ページで公開中です。

関連して、今年 12 月 12 日と 13 日に開催予定の PFAS 対策技術コンソーシアム国際講演会「PFAS 対策技術の将来」では、8 月に行った欧州 PFAS 対策技術現地見学会報告、ストックホルム条約事務局や UNEP : BAT/BEP ガイダンス作成グループ、欧州半導体工業協会 (ESIA) からの PFAS 対策方針の説明など、多数の国外専門家より PFAS 対策技術最新情報をご提供いただきます。

特に、半導体産業の中心組織である SEMI ジャパン様とも協力させていただき、SEMICON JAPAN (<https://www.semiconjapan.org/jp>) と同時開催することで、講演内容の相互配信も予定しております。国内産業の再興に必要不可欠なリチウムイオン電池や半導体産業、製鉄業他、国内ではほとんど情報公開されていない、多様な PFAS 発生源についても、専門家講義を予定します。また山下が共同執筆している「ストックホルム条約製品リサイクルガイドライン」や谷保が進める「総 PFAS 測定法の国際標準化」等、PFAS 対策技術コンソーシアムの強力な国際連携により、国際条約に基づく PFAS 安全利用のための BAT/BEP アセスメント技術など、国内コンサルタントでは入手不可能な最新情報についても紹介します。

13 日午後のセッションについては SEMICON JAPAN への事前登録は必要ですが、一般参加可能ですので、業種にかかわらず、最新の PFAS 対策技術の情報収集・実用化を目指す

団体・個人の方の参加を歓迎いたします。

具体的には、12月12日のPFAS対策技術コンソーシアム国際講演会「PFAS対策技術の将来」のオンライン会議のURLをSEMICON JAPANのサステナビリティ・サミットのウェブサイトに掲載させていただきます。

また12月13日午後のSEMICON JAPAN サステナビリティ・サミットのオンライン講演をPFAS対策技術コンソーシアム会員限定で配信いたします。

これによりSEMICON JAPANの参加者とPFAS対策技術コンソーシアムの会員の両方でPFAS対策に関する最新技術の共有が可能になります。

SEMICON JAPANの参加登録者とPFAS対策技術コンソーシアム会員については、今回の国際講演会内容についての質問対応をメールベースで後日行いますが、それ以外の抽象的な「意見交換」「面談」等の個別対応は予定していません。

また取材希望のメディアについてはあらかじめコンソーシアムで公開しているデータベースを精査して事前に勉強し、具体的な質問事項をご準備ください。不勉強な問い合わせについては、まずコンソーシアム事務局で基礎的な知識を確認していただく場合もあります。

コンソーシアムデータベースはこちら

https://unit.aist.go.jp/mcml/rg-org/library_pfas.html